



学校だより

平成26年9月26日
練馬区立田柄第二小学校
校長 谷田 弘子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-ky.ed.jp> e-mail info@tagara2-e.nerima-ky.ed.jp

教育目標:元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.434

出会い

副校長 垣崎 晃

27日は運動会です。校庭からも、体育館からも、教室からも子供達の元気のよい声が聞こえてきます。運動会が待ち遠しくてたまらないといった感じです。「家でもいっぱい練習しているんだ。」と話してくれる子もいました。本番がとっても楽しみです。

気がかりなことが一つあります。月曜日水曜日と1校時全体練習が行われました。10人以上の子供達が保健室に行きました。ほとんどが体調不良です。

本番で同じようになってしまっは、せっかく楽しみにしている運動会が台無しです。十分な睡眠としっかりとした食事を心がけ、体調万全で臨んでほしいと思います。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

テニス全米オープン決勝で、男女を通じて日本人初のファイナリストとなった、錦織圭選手。日本中に感動を与えてくれました。惜しくも決勝では敗れてしまいましたが、準優勝は男子ではアジアで初めての快挙です。とても素晴らしい活躍でした。

錦織選手の報道が多くなり、様々なエピソードも紹介されました。松岡修造さんと日本テニス協会の共催で行われている若手育成キャンプ「修造チャレンジ」に11歳から参加し、日本全国の学生の中から選りすぐられたトップテニスプレイヤーが集まる中で、まだ小学生だった錦織選手が対戦相手の高校生を負かしてしまったこと。13歳で単身渡米し、世界中の名だたるテニスプレイヤーを育てたテニスアカデミーへ留学し、1日8時間のテニス漬けの毎日だったことなど、とても興味を引かれました。

その中でも、マイケルチャンコーチとの出会いからの成長について書かれたものが目にとまりました。マイケルチャン氏は現役時代、錦織選手と同じ位の体格にも関わらず、欧米の選手たちを薙ぎ倒し、グランドスラムの最年少優勝記録を持っています。1989年、17歳の時でした。彼は全仏オープンで最年少優勝を飾ったのですが、この記録は未だに破られていないそうです。

錦織選手がマイケルチャンコーチと出会ったのが

2011年のチャリティーテニスでした。大震災の復興チャリティーテニスです。その時の対談の中で、「サーブの改善をしたい」「体格も同じくらいあなたならどうしますか」という錦織選手に対し、「ただサーブを改善するというのではなく、自分のよさを伸ばすこと」「ショットの強化以上に大切なこと、それは『勝つ方法』を見つけること」「あなたは相手が誰であろうと勝つことだけを考えるのです」等と答えていました。

イベントの後、マイケルチャン氏にコーチを依頼することになりました。錦織圭選手がマイケルチャンコーチから受けた指導は部活の強化合宿の様な徹底した反復練習でした。トス上げの位置、足の運び、置く位置など、物凄く細かな点を指摘改良されていきます。技術的な部分と肉体的な部分を徹底的に鍛え上げ、また、辛い反復練習を何度も何度も行い、身体を苛め抜く事でメンタル面も同時に鍛えられていきました。「練習でどれだけ自分を追い込むかによって、試合を楽に戦える」という指導でした。

そして、想像力を高めることも・・・相手の選手をどう動かして、どの様に裏をかき、そして止めを刺すには、どう試合を組み立てていけば良いのか？対戦しながら試合の流れを自分の思い通りに進め、試合の流れをイメージし、実際にその通りに相手も動かしていく力を高めていきました。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

運動会の練習で田二小の子供達も先生や上級生、友達から様々なことを学び、身につけていきました。その成果を遺憾なく発揮してくれることでしょう。運動会では以下のような子供達のがんばりを見ていただき、声援を送っていただきたいと思います。

○カー杯最後まで全力でおこなっている

○練習してきたことを活かそうと努力している

○自分の役割を果たそうとがんばっている

○友達と協力して、取り組んでいる。

スローガンにあるように、一致団結し、笑顔で全力ふりしぼります。ご期待ください。